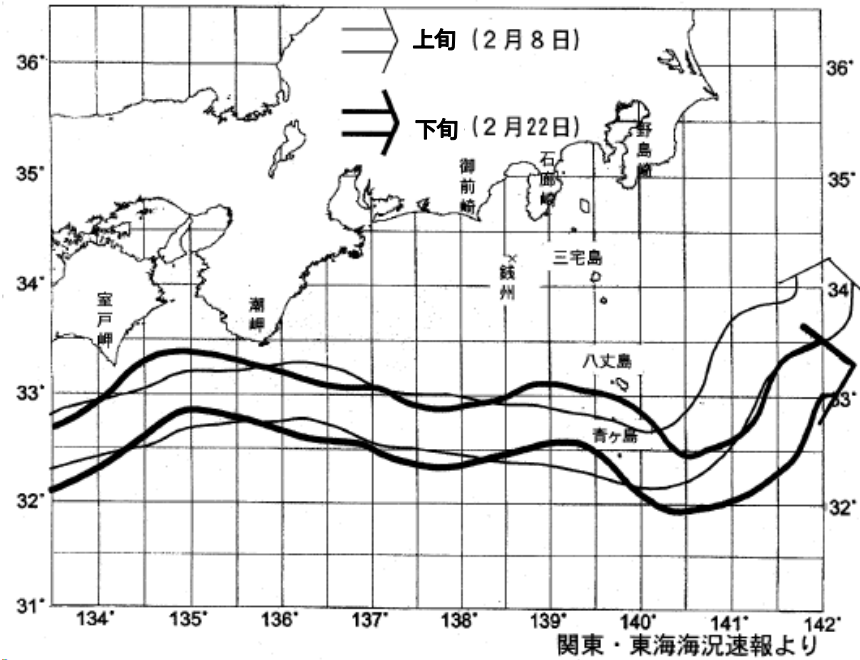


漁海況月報

平成 29 年 2 月 1 日

No. 2 ~2 月 28 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



2 月定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.7	16.3	15.5	15.8	14.8	14.3
	1.7	1.9	1.8	1.4	0.8	0.8
中旬	14.8	15.7	15.0	14.8	13.9	14.1
	0.9	1.6	1.4	0.5	-0.1	0.7
下旬	14.2	15.1	14.3	14.3	13.8	13.4
	0.6	1.0	0.6	-0.1	0.0	-0.0
月	15.0	15.8	15.0	15.0	14.2	14.0
	1.1	1.5	1.3	0.7	0.3	0.5

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

2 月の黒潮流路は月を通して C 型であった。上旬は遠州灘沖 32.5° N を東南東に進み八丈島の南を通過して北東に進んだ。中旬は遠州灘沖 32.5° N を東南東に進み八丈島南を東進した後 141° E を

北上した。下旬は遠州灘沖 32.5° N を東に進み八丈島付近を通過した後、更に東進した。

【県下沿岸域】

2 月上旬は、伊東、稲取、下田で「高め」、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。中旬になると、稲取で「高め」、伊東、下田、焼津で「やや高め」、雲見、沼津で「平年並」となった。下旬は、伊東、稲取、下田で「やや高め」、雲見、沼津、焼津で「平年並」であった。

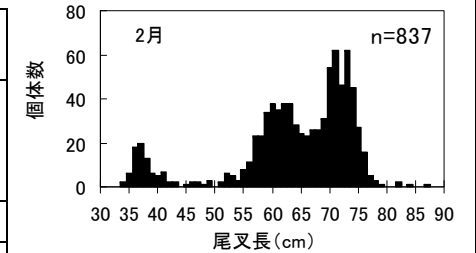
【竿釣カツオ】

2 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海竿釣り船によるカツオの水揚げ量は 46 トンで前年同期と同じで、魚価は 353 円/kg と前年同期を下回った。沿岸竿釣り船の水揚げはなかった。

近海竿釣り船は、19~24° N、139~150° E の南方や中南海域で、特大 (尾叉長 71~73cm モード)、大 (尾叉長 60~63cm モード) を主体に、チン (尾叉長 37cm モード) カツオを漁獲した。

竿釣り (近海+沿岸船) カツオ水揚げ量 (県内主要 5 港)

期間	水揚げ量 (トン)	水揚げ隻数	平均水揚げ量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
29 年 2 月上旬	16	1	15.6	282
中旬	12	1	12.3	567
下旬	18	2	8.9	267
29 年 2 月計	46	4	11.4	353
28 年 2 月計	46	6	7.7	424
27 年 2 月計	212	9	23.5	230



御前崎港における測定結果

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統 (伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) の水揚げ量は 121 トンで前年の同漁場の水揚げ量 (232 トン) の 52% であった。また、1 か統あたりの水揚げ量は、17.3 トンで前年 (33.1 トン) の 52%、平年 (昭和 57~平成 28 年の平均 30.9 トン) の 56% であった。水揚げの多い漁場は、古網漁場 (49.6 トン、カタクチイワシ)、次いで川奈漁場 (20.6 トン、マイワシ、さば類、カタクチイワシ) であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁 (表) の通りで、カタクチイワシは 65.8 トンで前年比 2.1 倍、平年比 1.1 倍であった。さば類は 23.3 トンで前年比 25%、平年比 93% であった。さば類のうち、ゴマサバは 17.6 トンで前年比 22%、平年比 76%、マサバは 5.7 トンで前年比 35%、平年比 1.7 倍であった。マイワシは 14.6 トンで前年比 19%、平年比 75% であった。マアジは 2.4 トンで前年比 2.9 倍、平年比 14% と、平年を下回ったものの、前年を大きく上回る漁獲であった。ブリは 2.1 トンで、銘柄ぶり・わらさ主体であった。銘柄ぶりは前年比 10%、平年比 6% と極めて低調な漁獲であった。銘柄わらさは 837 kg で前年比 1.4 倍、平年比 33% であった。その他の魚種では、スルメイカが 955 kg で前年比 8%、平年比 4% と極めて低調な漁獲であった。

多獲された魚種の主な漁場は次頁 (表) の通りで、カタクチイワシは古網漁場が 69% (45.3 トン)、北川漁場が 17% (11.1 トン)、さば類は伊豆山漁場が 44% (10.2 トン)、川奈漁場が 26% (6.0 トン)、マイワシは川奈漁場が 70% (10.2 トン)、富戸漁場が 18% (2.7 トン)、マアジは伊豆山漁場が 35% (0.8 トン)、古網漁場が 19% (0.5 トン)、ブリは川奈漁場が 61% (1.2 トン)、谷津漁場が 27% (0.5 トン) を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
カタクチイワシ	65.8	2.1	1.1	古網、北川、伊豆山
さば類	23.3	0.3	0.9	伊豆山、川奈、北川
マイワシ	14.6	0.2	0.8	川奈、富戸、北川
マアジ	2.4	2.9	0.1	伊豆山、古網、富戸
ブリ	2.1	0.2	0.1	川奈、谷津、古網

[調査船駿河丸の動向]

2月 8日 ~ 2月 9日	地先定線観測調査	(2日間)
2月 13日	ドック回航	(1日間)
2月 14日 ~	ドック	

[サバたもすくい網]

小川港所属の棒受網漁船は全船がたもすくい網で操業を行った。水揚量はマサバ504トン(前年同月比43%)、ゴマサバ90トン(前年同月比166%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ14.8トン(前年同月24.7トン)、ゴマサバ2.7トン(前年同月1.1トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ145円で前年同月(134円)を上回ったが前月(279円)を下回った。ゴマサバは113円で前年同月(114円)、前月(111円)とほぼ同額であった。

漁獲されたマサバの体長組成は29cmにモードを持つ単峰型を示し、3、4歳魚主体であった。ゴマサバの体長組成は26cmにモードを持つ単峰型を示し、1歳魚主体であった。

小川港 さば類(たもすくい網漁業) 水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
29年 2月上旬	108	72	4	11	9.8	6.5	183	110	三本、三宅
中旬	284	15	5	15	18.9	1.0	150	123	三本、銭洲
下旬	112	4	4	8	14.0	0.4	95	116	三本、銭洲
29年 2月計	504	90	13	34	14.8	2.7	145	113	三本、銭洲、三宅
28年 2月計	1,185	54	15	48	24.7	1.1	134	114	三本
27年 2月計	750	110	11	43	17.4	2.6	295	198	三本

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚げは、小川港では838.7トン(前年同月比1.6倍、平年同月比2.6倍)、沼津港では538.9トン(前年同月比29%、平年同月比69%)、伊東港では18.6トン(前年同月比7%、平年同月比33%)であった。静岡港では水揚げは無かった(前年同月及び平年同月の水揚げも無し)。カタクチイワシの水揚げは小川港、沼津港、静岡港及び伊東港の全てで無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網8か統の水揚げは、マイワシが14.7トン、カタクチイワシが65.8トンであった。

*平年同期：過去5か年(平成24年~28年)平均値

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

